

◎所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための  
日本国と大韓民国との間の条約

(略称) 韓国との租税(所得)条約

昭和四十五年三月 三日 東京で署名  
昭和四十五年五月 十一日 国会承認  
昭和四十五年九月二十五日 批准の閣議決定  
昭和四十五年九月二十九日 ソウルで批准書交換  
昭和四十五年十月 三日 公布及び告示  
(条約第二〇号)  
昭和四十五年十月二十九日 効力発生

目次

ページ

前文	三六三
第一条 対象となる租税	三六三
第二条 定義	三六三
第三条 締約国の居住者及び法人	三六四
第四条 恒久的施設	三六五
第五条 一般原則	三六八
第六条 産業上又は商業上の利得	三六八

第七条	船舶、航空機に係る利得	三七〇
第八条	特殊関係企業の所得	三七一
第九条	配当	三七二
第十条	利子	三七二
第十一条	無体財産権の使用料及び譲渡益	三七四
第十二条	人的役務による所得	三七六
第十三条	教育者又は研究者の所得	三七八
第十四条	学生、事業修習者等に対する奨励金等	三七九
第十五条	退職年金及び保険年金	三八一
第十六条	公務遂行に係る報酬	三八一
第十七条	特典を受ける権利	三八三
第十八条	二重課税の排除方法	三八三
第十九条	内国民待遇	三八四
第二十条	両国当局間の通信及び協議	三八五
第二十一条	情報の交換	三八六
第二十二条	徴収共助	三八七
第二十三条	不服申立て及び両国当局間の協議	三八七
第二十四条	外交官及び領事官の特権	三八八

第二十五条 批准、効力発生及び適用範囲……………三八八

第二十六条 条約の終了及び適用範囲……………三八八

末 文……………三八九

○所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止の

ための日本国と大韓民国との間の条約に関する交換公文……………三九一

日本側書簡……………三九一

1 配賦経費の計算……………三九一

2 産業上又は商業上の利得の源泉配分……………三九四

韓国側書簡……………三九七

○大韓民国の経済開発を促進するための特別の奨励措置に関する交換公文……………三九八

韓国側書簡……………三九八

韓国の経済開発を促進するための特別の奨励措置……………三九八

日本側書簡……………四〇〇

○議定書……………四〇一

前文……………四〇一

1 請求権・経済協力協定に基づく取引に関する営業税の免除……………四〇一

2	資本財導入契約に関する営業税の免除	四〇一
3	効力発生	四〇一
	末文	四〇一

所得に対する租税に関する二重課税の回避及び脱税の防止のための日本国と大韓民国との間の条約

日本国及び大韓民国は、  
所得に対する租税に関し、二重課税を回避し及び脱税を防止  
するための条約を締結することを希望して、  
次のとおり協定した。

第一条

対象とな  
る租税

- (1) この条約の対象である租税は、次のものとする。
- (a) 大韓民国においては、所得税及び法人税（以下「韓国の租税」という。）
- (b) 日本国においては、所得税、法人税及び住民税（以下「日本の租税」という。）

(2) この条約は、(1)に掲げる租税と実質的に類似の性質を有する租税（国税であるか地方税であるかを問わない。）で、現行の租税に加えて又はこれに代わつてこの条約の署名の日の後に課されるものについても、また、適用する。

第二条

- (1) この条約において、文脈により別に解釈すべき場合を除くほか、

定  
義

韓国との租税（所得）条約

CONVENTION BETWEEN JAPAN AND THE REPUBLIC OF KOREA FOR THE AVOIDANCE OF DOUBLE TAXATION AND THE PREVENTION OF FISCAL EVASION WITH RESPECT TO TAXES ON INCOME

Japan and the Republic of Korea,  
Desiring to conclude a Convention for the avoidance of double taxation and the prevention of fiscal evasion with respect to taxes on income,

Have agreed as follows:

Article 1

- (1) The taxes which are the subject of this Convention are:

- (a) In the Republic of Korea, the income tax and the corporation tax (hereinafter referred to as "Korean tax").
- (b) In Japan, the income tax, the corporation tax and the local inhabitant taxes (hereinafter referred to as "Japanese tax").

(2) This Convention shall also apply to taxes, whether national or local, substantially similar to those covered by paragraph (1) of this Article, which are imposed in addition to, or in place of, the existing taxes after the date of signature of this Convention.

Article 2

- (1) In this Convention, unless the context otherwise requires:

- (a) 「韓国」とは、大韓民国をいう。
- (b) 「日本国」とは、地理的意味で用いる場合には、日本国の租税に関する法令が施行されているすべての領域をいう。
- (c) 「一方の締約国」及び「他方の締約国」とは、文脈により、日本国又は韓国をいう。
- (d) 「者」には、個人、法人及び法人以外の社団を含む。
- (e) 「法人」とは、法人格を有する団体又は租税に関し法人格を有する団体として取り扱われる団体をいう。
- (f) 「租税」とは、文脈により、日本国の租税又は韓国の租税をいう。
- (g) 「権限のある当局」とは、
  - (i) 韓国については、財務部長官又は権限を与えられたその代理者をいう。
  - (ii) 日本国については、大蔵大臣又は権限を与えられたその代理者をいう。

(2) 一方の締約国がこの条約を適用する場合には、特に定義されていない用語は、文脈により別に解釈すべき場合を除くほか、この条約が適用される租税に関するその締約国の法令上有する意義を有するものとする。

### 第三条

(1) この条約の適用上、「一方の締約国の居住者」とは、当該

- (a) the term "Korea" means the Republic of Korea;
  - (b) the term "Japan", when used in a geographical sense, means all the territory in which the laws relating to Japanese tax are in force;
  - (c) the terms "a Contracting State" and "the other Contracting State" mean Japan or Korea, as the context requires;
  - (d) the term "person" comprises an individual, a corporation and any other body of persons;
  - (e) the term "corporation" means any body corporate or any entity treated as a body corporate for tax purposes;
  - (f) the term "tax" means Japanese tax or Korean tax, as the context requires;
  - (g) the term "competent authorities" means:
    - (i) in Korea, the Minister of Finance or his authorized representative;
    - (ii) in Japan, the Minister of Finance or his authorized representative.
- (2) As regards the application of this Convention by a Contracting State, any term not expressly defined shall, unless the context otherwise requires, have the meaning which it has under the laws of that Contracting State relating to the taxes to which this Convention applies.

### Article 3

(1) For the purposes of this Convention, the term "resident of a Contracting State" means

締約国の

居住者及  
び法人

- 一方の締約国の租税に関し当該一方の締約国の居住者とされる個人をいう。
- (2) この条約の適用上、「一方の締約国の法人」とは、当該一方の締約国内に本店又は主たる事務所を有する法人をいう。
- (3) (1)の規定によつて双方の締約国の居住者となる個人については、両締約国の権限のある当局は、合意により、この条約の適用上その個人が居住者であるとみなされる締約国を決定する。

第四条

恒久的施設

- (1) この条約の適用上、「恒久的施設」とは、事業を行なう一定の場所であつて一方の締約国の居住者又は法人がその事業の全部又は一部を行なつてゐるものをいう。
- (2) 「事業を行なう一定の場所」には、次のものを含むが、これらに限らない。
- (a) 事務所
  - (b) 店舗その他の販売所
  - (c) 工場
  - (d) 作業場
  - (e) 倉庫
  - (f) 鉱山、採石場その他天然資源を採取する場所
  - (g) 建築工事現場又は建設、据付け若しくは組立ての工事で、

an individual who is a resident of that Contracting State for tax purposes of that Contracting State.

(2) For the purposes of this Convention, the term "corporation of a Contracting State" means a corporation which has its head or main office in that Contracting State.

(3) Where by reason of the provisions of paragraph (1) of this Article an individual is a resident of both Contracting States, then the competent authorities of both Contracting States shall determine by mutual agreement the Contracting State of which that individual shall be deemed to be a resident for the purposes of this Convention.

Article 4

- (1) For the purposes of this Convention, the term "permanent establishment" means a fixed place of business in which a resident or corporation of a Contracting State wholly or partly carries on business.
- (2) The term "a fixed place of business" includes, but is not limited to:
- (a) an office;
  - (b) a store or other sales outlet;
  - (c) a factory;
  - (d) a workshop;
  - (e) a warehouse;
  - (f) a mine, quarry or other place of extraction of natural resources;
  - (g) a building site or construction, installation or assembly project which

六箇月をこえる期間存続するもの

(3) (1)の規定にかかわらず、事業を行なう一定の場所であつて次の一又は二以上の活動のためにのみ使用されるものは、恒久的施設には含まれない。

- (a) 居住者又は法人に属する物品又は商品を他の者が加工すること。
- (b) 居住者又は法人のために物品又は商品を単に購入すること。
- (c) 居住者又は法人に属する物品又は商品を単に保管すること。
- (d) 居住者又は法人のために情報を収集すること。
- (e) 広告、科学的調査、物品若しくは商品の展示、情報の提供又はこれらに類する活動で居住者若しくは法人の事業にとつて準備的若しくは補助的な性質を有するものを行なうこと。

(4) 一方の締約国の居住者又は法人が(1)、(2)及び(3)の規定により他方の締約国内に恒久的施設を有しないものとされる場合においても、その居住者又は法人は、次の場合には、当該他方の締約国内に恒久的施設を有するものとされる。

- (a) その居住者又は法人が次の代理人を通じて当該他方の締約国内で事業を行なう場合
  - (i) 当該他方の締約国内で、その居住者又は法人の名において契約を締結する権限を有し、かつ、これを常習的に行使する代理人（その権限の行使がその居住者又は法人

exists for more than six months.

(3) Notwithstanding the provisions of paragraph (1) of this Article, a permanent establishment shall not include a fixed place of business used only for one or more of the following activities:

- (a) processing by another person of goods or merchandise belonging to the resident or corporation;
- (b) mere purchase of goods or merchandise for the resident or corporation;
- (c) mere storage of goods or merchandise belonging to the resident or corporation;
- (d) collection of information for the resident or corporation;
- (e) advertising, the conduct of scientific research, the display of goods or merchandise, the supply of information or similar activities which have a preparatory or auxiliary character in the business of the resident or corporation.

(4) Even if a resident or corporation of a Contracting State does not have a permanent establishment in the other Contracting State under the provisions of paragraphs (1), (2) and (3) of this Article, it shall be deemed to have a permanent establishment in that other Contracting State if it:

- (a) engages in business in that other Contracting State through an agent who -
  - (i) has an authority to conclude contracts in the name of that resident or corporation and regularly exercises that authority in that other Contracting State, unless



のために物品又は商品を購入することに限られるものを除く。)

(ii) もつばら又は主として、その居住者若しくは法人のため、又はこれらの者及びこれらの者に支配され若しくはこれらの者に対し支配力のある利害関係を有する他の者のため、当該他方の締約国内で常習的に注文を取得する代理人

(iii) その居住者又は法人に属する物品又は商品の在庫でその中から常習的に引渡しを行なうものを当該他方の締約国内に保有する代理人

(b) その居住者又は法人が当該他方の締約国内で次の役務を提供する場合

(i) 建築、建設、据付け又は組立ての工事に關する契約に關連して六箇月をこえる期間提供される監督、技術的役務その他の職業的役務又はこれらに類する人的役務

(ii) 第十二条(4)に規定する芸能人の役務

(5) (4)の規定にかかわらず、一方の締約国の居住者又は法人は、真正な仲立人、問屋、運送取扱人、保管人その他独立の地位を有する代理人でこれらの者としての業務を通常の方法で行なうものの役務を他方の締約国内で利用しているという理由のみでは、当該他方の締約国内に恒久的施設を有するものとされることはない。

the exercise of the authority is limited to the purchase of goods or merchandise for the resident or corporation; or

(ii) regularly secures orders in that other Contracting State wholly or almost wholly for that resident or corporation or for that resident or corporation and other persons who are controlled by or have a controlling interest in that resident or corporation; or

(iii) maintains in that other Contracting State a stock of goods or merchandise belonging to that resident or corporation from which he regularly makes deliveries; or

(b) provides in that other Contracting State -

(i) personal service, such as supervisory, technical or any other professional service performed for more than six months in connection with a contract of a building, construction, installation or assembly project; or

(ii) the services of public entertainers referred to in paragraph (4) of Article 12.

(5) Notwithstanding the provisions of paragraph (4) of this Article, a resident or corporation of a Contracting State shall not be deemed to have a permanent establishment in the other Contracting State merely because it uses the services in that other Contracting State of a bona fide broker, general commission agent, forwarding agent, custodian or other agent of independent status acting in the ordinary course of his business.

- (6) 一方の締約国の法人が、(a) 他方の締約国の法人若しくは (b) 他方の締約国において恒久的施設を通じ若しくは通じないで事業を行なう法人を支配し、又はこれらに支配されているという事実のみによつては、いずれの一方の法人も、他方の法人の恒久的施設であることとはならない。

## 第五条

- (1) 一方の締約国の居住者又は法人に対しては、この条約に定める制限に従い、他方の締約国内の源泉から生じた所得についてののみ、当該他方の締約国において租税を課することができる。
- (2) この条約中に適用される明文の規定がない所得に対しては各締約国においてその法令に従い租税を課することができる。
- (3) この条約の規定は、一方の締約国が租税の額を決定するにあたり、(a) 当該一方の締約国の法令又は (b) 両締約国間の他の協定によつて現在又は将来認められる非課税、免税、所得控除、税額控除その他の減免をいかなる態様においても制限するものと解してはならない。
- (4) 一方の締約国において施行されている法令は、これと反対の規定がこの条約に設けられている場合を除くほか、当該一方の締約国において引き続き所得に対する課税を規制する。

## 第六条

- (6) The fact that a corporation of a Contracting State controls or is controlled by (a) a corporation of the other Contracting State or (b) a corporation which carries on business in that Contracting State (whether through a permanent establishment or otherwise) shall not of itself constitute for either corporation a permanent establishment of the other.

## Article 5

- (1) A resident or corporation of a Contracting State shall be taxable in the other Contracting State only on income derived from sources within that other Contracting State subject to the limitations set forth in this Convention.
- (2) Any item of income to which the provisions of this Convention are not expressly applicable may be taxed in each of the Contracting States in accordance with its own laws.
- (3) The provisions of this Convention shall not be construed to restrict in any manner any exclusion, exemption, deduction, credit or other allowance now or hereafter accorded by (a) the laws of a Contracting State or (b) any other agreement between the both Contracting States in the determination of the tax of that Contracting State.
- (4) The laws in force in either Contracting State shall continue to govern the taxation of income in that either Contracting State except where provisions to the contrary are made in this Convention.

## Article 6

- (1) 一方の締約国の居住者又は法人は、他方の締約国内に恒久的施設を有しない限り、その産業上又は商業上の利得につき当該他方の締約国において租税を免除される。
- (2) 一方の締約国の居住者又は法人が他方の締約国内に恒久的施設を有する場合には、その恒久的施設に対し、当該他方の締約国内の源泉から生じたその居住者又は法人の全所得につき当該他方の締約国において租税を課することができる。
- (3) 一方の締約国の居住者又は法人が他方の締約国内に有する恒久的施設の産業上又は商業上の利得の決定に際しては、経営費及び一般管理費を含む費用で合理的にその利得に関連するものは、いかなる場所で生じたかを問わず、経費に算入することを認められるものとする。
- (4) (5)の規定にかかわらず、一方の締約国の居住者若しくは法人の恒久的施設がその居住者若しくは法人のためにのみ行ない又はこれらの者が自己のために行なつた物品若しくは商品の単なる購入を理由としては、いかなる利得も、その恒久的施設が存在する他方の締約国内の源泉から生じたものとされることはない。
- (5) この条の規定の適用上、居住者又は法人が一方の締約国において購入し又は製造した物品又は商品を他方の締約国において販売することによつて取得する産業上又は商業上の利得は、一部分はその物品又は商品が購入され又は製造された締

- (1) A resident or corporation of a Contracting State shall be exempt from tax in the other Contracting State with respect to its industrial or commercial profits if that resident or corporation has no permanent establishment in that other Contracting State.
- (2) If a resident or corporation of a Contracting State has a permanent establishment in the other Contracting State, the permanent establishment may be taxed in that other Contracting State on the entire income of that resident or corporation from sources within that other Contracting State.
- (3) In the determination of the industrial or commercial profits of a permanent establishment which a resident or corporation of a Contracting State has in the other Contracting State, there shall be allowed as deductions expenses, wherever incurred, which are reasonably connected with such profits, including executive and general administrative expenses.
- (4) Notwithstanding the provisions of paragraph (5) of this Article, no profits shall be deemed to be derived from sources within a Contracting State in which a permanent establishment of a resident or corporation of the other Contracting State is located, by reason of mere purchase of goods or merchandise by that permanent establishment solely for that resident or corporation, or by that resident or corporation for itself.
- (5) For the purposes of this Article, the industrial or commercial profits derived from the sale by a resident or corporation in a Contracting State of goods or merchandise purchased or manufactured in the other Contracting State by such resident or corpora-

約国内の源泉から、一部分はその物品又は商品が販売された締約国内の源泉から生じた所得として取り扱う。両締約国の政府又は権限のある当局は、前記の産業上又は商業上の利得の源泉の配分に関する細目につき、この条に定める課税上の原則と矛盾しない範囲内で協議し及び取りきめることができる。

# 第七条

## Article 7

(1) 第六条(2)の規定にかかわらず、一方の締約国の居住者又は法人が次の国に登録されている船舶又は航空機を国際運輸に運用することにより取得する所得又は収入については、他方の締約国において租税を免除する。

- (a) いずれかの締約国
- (b) 当該他方の締約国の居住者又は法人が当該他方の締約国に登録されている船舶又は航空機を運用することにより取得する所得又は収入に対する租税を免除する第三国

(2) (1)の規定は、一方の締約国の居住者又は法人で船舶又は航空機を国際運輸に運用するものがいかなる種類の共同計算、共同経営又は国際経営共同体に参加している場合についても同様に、適用する。

tion shall be treated as income derived from sources in part within the Contracting State in which such goods or merchandise are purchased or manufactured and in part within the Contracting State in which such goods or merchandise are sold. The governments or competent authorities of both Contracting States may, consistent with the principles of taxation laid down in this Article, consult and arrange details for the apportionment of sources of the industrial or commercial profits described above.

(1) Notwithstanding the provisions of paragraph (2) of Article 6, income or revenue which a resident or corporation of a Contracting State derives from the operation in international traffic of ships or aircraft registered -

- (a) in either Contracting State, or
- (b) in any third country which exempts from its taxes on income or revenue derived by a resident or corporation of the other Contracting State from the operation of ships or aircraft registered in that other Contracting State

shall be exempt from tax in that other Contracting State.

(2) The provisions of paragraph (1) of this Article shall likewise apply in respect of participations in a pool, in a joint business or in an international operations agency of any kind by a resident or corporation of a Contracting State engaged in the operation of ships or aircraft in international traffic.

船舶、航空機に係る利得

(3) (1)の規定の適用上、「租税」には、文脈により、日本国の事業税又は韓国の營業税を含む。

(4) 船舶又は航空機の運用から生ずる所得又は収入に対する課税の相互免除に関し日本国政府と大韓民国政府との間で千九百六十九年四月一日にソウルにおいて交換された公文により成立した取極は、この条約の規定が適用される日から効力を失う。

## 第八条

(1) 一方の締約国の居住者又は法人で他方の締約国から所得を取得するものが他の者と関連を有する場合において、両者の間で独立の者の間の取決めと異なる取決めが作成され又は独立の者の間の条件と異なる条件が課されるときは、その取決め又は条件がなかつたならばその居住者又は法人の所得となつたはずである所得でその取決め又は条件のためにその居住者又は法人の所得とならなかつたものは、この条約の適用上その居住者又は法人の所得に算入して、当該他方の締約国において課税することができる。

(2) (a) いずれか一方の者が他方の者の経営、支配若しくは資本に直接若しくは間接に参加する場合又は

(b) それら双方の者の経営、支配若しくは資本に第三者が直接若しくは間接に参加する場合

には、いずれの一方の者も、他方の者と関連を有するものと

(3) For the purposes of paragraph (1) of this Article, the term "tax" includes the enterprise tax of Japan or the business tax of Korea, as the context requires.

(4) The arrangement made by the Notes exchanged at Seoul on April 1, 1969 between the Government of Japan and the Government of the Republic of Korea concerning reciprocal exemption from taxation of income or revenue derived from the operation of ships or aircraft shall cease to be effective as from the dates from which the provisions of this Convention are applicable.

## Article 8

(1) Where a resident or corporation of a Contracting State deriving income in the other Contracting State is related to any other person and where such related persons make arrangements or impose conditions between themselves which are different from those which would be made between independent persons, then any income which would, but for those arrangements or conditions, have accrued to such resident or corporation but, by reason of those arrangements or conditions, has not so accrued, may be included in the income of such resident or corporation for the purposes of this Convention and taxed in that other Contracting State accordingly.

(2) A person is related to another person if (a) either person participates directly or indirectly in the management, control or capital of the other, or (b) any third person or persons participate directly or indirectly in the management, control or capital of both.

される。

# 第九条

(1) 一方の締約国の居住者又は法人が他方の締約国内の源泉から取得する配当に対し当該他方の締約国において課される租税の額は、その配当の総額の十二パーセントをこえないものとする。

(2) (1)の規定は、一方の締約国の居住者又は法人である配当の受領者が、その配当が生じた他方の締約国内に、その配当の支払の基因となつた株式又は持分と実質的に関連する恒久的施設を有する場合には、適用しない。この場合には、その配当が産業上又は商業上の利得であるものとして、第六条の規定を適用する。

(3) 一方の締約国の法人が支払う配当は、当該一方の締約国内の源泉から生じた所得として取り扱う。

# 第十条

(1) 一方の締約国の居住者又は法人が他方の締約国内の源泉から取得する利子に対し当該他方の締約国において課される租税の額は、その利子の総額の十二パーセントをこえないものとする。

(2) (1)の規定にかかわらず、一方の締約国の政府（地方公共団体を含む）、中央銀行又はこれらのいずれか若しくは双方に

# Article 9

(1) The tax imposed in a Contracting State on dividends derived from sources within that Contracting State by a resident or corporation of the other Contracting State shall not exceed 12 per cent of the gross amount thereof.

(2) The provisions of paragraph (1) of this Article shall not apply if the recipient of the dividends, being a resident or corporation of a Contracting State, has in the other Contracting State in which the dividends arise a permanent establishment with which the holding by virtue of which the dividends are paid is effectively connected. In such a case, the provisions of Article 6 shall apply, as if they were industrial or commercial profits.

(3) Dividends paid by a corporation of a Contracting State shall be treated as income from sources within that Contracting State.

# Article 10

(1) The tax imposed in a Contracting State on interest derived from sources within that Contracting State by a resident or corporation of the other Contracting State shall not exceed 12 per cent of the gross amount thereof.

(2) Notwithstanding the provisions of paragraph (1) of this Article, interest derived from sources within a Contracting State by the Government of the other Contracting State

よつて所有されている機関（金融機関を含む。）が他方の締約国内の源泉から取得する利子については、当該他方の締約国において租税を免除する。

(3) (1)の規定は、一方の締約国の居住者又は法人である利子の受領者が、その利子が生じた他方の締約国内に、その利子を生じた債権と実質的に関連する恒久的施設を有する場合には、適用しない。この場合には、その利子が産業上又は商業上の利得であるものとして、第六条の規定を適用する。

(4) 支払者が第八条に規定する関連を有する者に支払つた利子の金額が、その支払の基因となつた債務に対する公正かつ妥当な対価をこえる場合には、(1)の規定は、当該利子の金額のうちその公正かつ妥当な対価に相当する部分についてのみ適用するものとし、これをこえる部分に対しては、各締約国の法令に従い、かつ、この条約中に適用される規定があるときはこれに従つて、租税を課することができる。

(5) (a) (b)に定める場合を除くほか、一方の締約国（その地方公共団体を含む。）又はその居住者若しくは法人が支払う利子は、当該一方の締約国内の源泉から生じた所得として取り扱う。

(b) 一方の締約国の居住者又は法人が他方の締約国内又は両締約国外に有する恒久的施設の資金から直接支払う利子で

including local authorities thereof, the central bank of that other Contracting State, or any agency or instrumentality (including financial institution) wholly owned by that Government or that central bank or by both shall be exempt from tax in the first-mentioned Contracting State.

(3) The provisions of paragraph (1) of this Article shall not apply if the recipient of the interest, being a resident or corporation of a Contracting State, has in the other Contracting State in which the interest arises a permanent establishment with which the debt-claim from which the interest arises is effectively connected. In such a case, the provisions of Article 6 shall apply, as if it were industrial or commercial profits.

(4) Where any interest, paid by a person to any related person, as defined in Article 8, exceeds a fair and reasonable consideration in respect of the indebtedness for which it is paid, the provisions of paragraph (1) of this Article shall apply only to so much of the interest as represents such fair and reasonable consideration; and the excess part of the payment shall be taxable according to the laws of each Contracting State and the provisions of this Convention where applicable.

(5) (a) Except as provided in subparagraph (b), interest paid by a Contracting State including any local authorities thereof or by a resident or corporation of that Contracting State shall be treated as income from sources within that Contracting State.

(b) Interest paid by a resident or corporation of a Contracting State with a permanent establishment in the other

あつて、その恒久的施設が自己の用にのみ供するために受け入れた債務又はその恒久的施設が受け入れた金融業務上の預金に係るものは、その恒久的施設が存在する国の源泉から生じた所得として取り扱う。

# 第十一条

無体財産  
の使用  
権及び  
権料の  
渡り  
益

(1) (a) 一方の締約国の居住者又は法人が他方の締約国内の源泉から取得する使用料に対し当該他方の締約国において課される租税の額は、その使用料の総額の十二パーセントをこえないものとする。

(b) 一方の締約国の居住者又は法人が、(3) (a) 及び (3) (b) に規定する財産、権利又は情報を譲渡することにより他方の締約国内の源泉から取得する所得に対し当該他方の締約国において課される租税の額は、その所得の総額の十二パーセントをこえないものとする。

(2) (1) の規定は、一方の締約国の居住者又は法人である使用料又は所得の受領者が、その使用料又は所得が生じた他方の締約国内に、その使用料又は所得を生じた財産、権利又は情報と実質的に関連する恒久的施設を有する場合には、適用しない。この場合には、その使用料又は所得が産業上又は商業上の利得であるものとして、第六条の規定を適用する。

Contracting State or outside both Contracting States directly out of the funds of such permanent establishment on indebtedness incurred for the sole use of, or on banking deposits made with, such permanent establishment shall be treated as income from sources within the country in which such permanent establishment is located.

## Article 11

(1) (a) The tax imposed in a Contracting State on royalties derived from sources within that Contracting State by a resident or corporation of the other Contracting State shall not exceed 12 per cent of the gross amount thereof.

(b) The tax imposed in a Contracting State on income derived from sources within that Contracting State from the alienation of the property, right or information referred to in paragraph (3) (a) and (b) of this Article by a resident or corporation of the other Contracting State shall not exceed 12 per cent of the gross amount thereof.

(2) The provisions of paragraph (1) of this Article shall not apply if the recipient of the royalties or income, being a resident or corporation of a Contracting State, has in the other Contracting State in which the royalties or income arise a permanent establishment with which the property, right or information giving rise to the royalties or income is effectively connected. In such a case, the provisions of Article 6 shall apply, as if the royalties or income were industrial or commercial profits.



(3) この条の規定の適用上、「使用料」とは、次のものの使用又は使用の権利の対価として支払われる使用料、賃貸料その他の料金をいう。

(a) 文学上、美術上又は学術上の著作物の著作権、映画フィルム、ラジオ放送用又はテレビジョン放送用のフィルム又はテープ、特許権、意匠、模型、図面、秘密工程又は秘密方式、商標権その他これらに類する財産又は権利

(b) 産業上、商業上若しくは学術上の設備又は産業上、商業上若しくは学術上の知識、経験若しくは技能に関する情報

(c) 裸用船契約に基づいて賃貸される船舶又は航空機

(4) (1)、(2)及び(3)の規定は、鉱山、採石場その他天然資源を採取する場所の経営に関して支払われる使用料、賃貸料その他の料金については、適用しない。

(5) 支払者が第八条に規定する関連を有する者に支払つた使用料又は所得の金額が、その支払の基因となつた財産、権利又は情報に対する公正かつ妥当な対価をこえる場合には、(1)の規定は、当該使用料又は所得の金額のうちその公正かつ妥当な対価に相当する部分についてのみ適用するものとし、これをこえる部分に対しては、各締約国の法令に従ひ、かつ、この条約中に適用される規定があるときはこれに従つて、租税を課することができる。

(6) (3)に規定する財産、権利又は情報の一方の締約国における使用又は使用の権利について支払われる使用料は、当該一方

(3) For the purposes of this Article, the term "royalties" means any royalties, rentals or other amounts paid as a consideration for the use of, or the right to use -

(a) copyrights of literary, artistic or scientific works, motion picture films, films or tapes for radio or television broadcasting, patents, designs, models, plans, secret processes or formulae, trademarks, or other like property or rights, or

(b) industrial, commercial or scientific equipment, or information concerning industrial, commercial or scientific knowledge, experience or skill, or

(c) ships or aircraft leased under a bare boat charter contract.

(4) The provisions of paragraphs (1), (2) and (3) of this Article shall not apply to any royalties, rentals or other amounts paid in respect of the operation of mines, quarries or other places of extraction of natural resources.

(5) Where any royalties or income, paid by a person to any related person, as defined in Article 8, exceed a fair and reasonable consideration in respect of the property, right or information for which they are paid, the provisions of paragraph (1) of this Article shall apply only to so much of the royalties or income as represents such fair and reasonable consideration; and the excess part of the payment shall be taxable according to the laws of each Contracting State and the provisions of this Convention where applicable.

(6) Royalties paid for the use of, or the right to use, in a Contracting State, property, right or information described in paragraph

の締約国内の源泉から生じた所得として取り扱う。ただし、国際運輸に運用される船舶又は航空機の賃貸に係る使用料は、賃借人が居住者又は法人である締約国内の源泉から生じた所得として取り扱う。一方の締約国における使用のため(3)(a)及び(3)(b)に規定する財産、権利又は情報を譲渡することから生ずる所得は、当該一方の締約国内の源泉から生じた所得として取り扱う。

## 第十二条

### 人的役務による所得

(1) 第十三条、第十四条、第十五条及び第十六条の規定が適用される場合を除くほか、一方の締約国の居住者がその人的役務に関して受け取る報酬に対しては、その報酬が他方の締約国内の源泉から生じたものでない限り、当該一方の締約国においてのみ租税を課することができる。その報酬が当該他方の締約国内の源泉から生じたものである場合には、その報酬に対しては、当該他方の締約国において租税を課することができる。

(2) (a) 個人が使用人として若しくは独立の資格においてその人的役務を提供し又は他の者の人的役務を提供することに關して受け取る所得及び法人がその使用人その他の者の人的役務を提供することに關して受け取る所得は、その人的役務が提供された締約国内の源泉から生じた所得として取り扱う。

(3) of this Article shall be treated as income from sources within that Contracting State. However, royalties from leasing ships or aircraft operated in international traffic shall be treated as income from sources within the Contracting State of which the lessee is a resident or corporation. Income from the alienation of property, right or information described in paragraph (3) (a) and (b) of this Article for use in a Contracting State shall be treated as income from sources within that Contracting State.

## Article 12

(1) Subject to the provisions of Articles 13, 14, 15 and 16, remuneration received by a resident of a Contracting State for his personal services shall be taxable only in that Contracting State unless such remuneration is derived from sources within the other Contracting State. If the remuneration is so derived, it may be taxed in that other Contracting State.

(2) (a) Income received by an individual for his performance of personal services (either as an employee or in an independent capacity) or for furnishing the personal services of other persons and income received by a corporation for furnishing the personal services of its employees or others shall be treated as income from sources within the Contracting State in which such services are performed.

(b) (a)の規定にかかわらず、一方の締約国の居住者又は法人が運用する船舶又は航空機において提供される人的役務に関する報酬は、その人的役務がその船舶又は航空機の正規の乗組員によつて提供される場合には、当該一方の締約国の源泉から生じた所得として取り扱う。

(c) (a)の規定にかかわらず、個人が法人の役員の資格で受け取る報酬は、その個人が役員である法人が一方の締約国の法人である場合には、当該一方の締約国内の源泉から生じた所得として取り扱う。

(3) (1)の規定にかかわらず、一方の締約国の居住者は、次の場合には、他方の締約国内で提供した人的役務によつて取得する所得につき当該他方の締約国において租税を免除される。

(a) (i) その居住者がその年を通じて合計百八十三日をこえない期間当該他方の締約国内に滞在し、

(ii) その人的役務が当該一方の締約国の居住者又は法人の使用人の役務として提供され、かつ、

(iii) その報酬が当該一方の締約国の居住者又は法人の利得で当該他方の締約国において租税を課されるものの算定にあたり報酬として控除されない場合

(b) Notwithstanding the provisions of subparagraph (a) above, remuneration for personal services performed aboard ships or aircraft operated by a resident or corporation of a Contracting State shall be treated as income from sources within that Contracting State, if rendered by a member of the regular complement of the ships or aircraft.

(c) Notwithstanding the provisions of subparagraph (a) above, the remuneration received by an individual in his capacity as a member of the board of directors of a corporation shall be treated as income from sources within a Contracting State, if the corporation of which the individual is a director is a corporation of that Contracting State.

(3) Notwithstanding the provisions of paragraph (1) of this Article, a resident of a Contracting State shall be exempt from tax in the other Contracting State with respect to income from personal services rendered in the other Contracting State if -

(a) (i) he is present within the other Contracting State for a period or periods not exceeding in the aggregate 183 days in the calendar year concerned, and

(ii) the services are performed as an employee of a resident or corporation of the first-mentioned Contracting State, and

(iii) the remuneration is not deducted as such in computing the profits of a resident or corporation of the first-mentioned Contracting State taxable in that other Con-

(b) (i) その居住者がその年を通じて合計九十日をこえない期間当該他方の締約国内に滞在し、

(ii) その居住者が自由職業に従事し、かつ、

(iii) その自由職業について受け取る報酬が三千合衆国ドル又は日本円若しくは韓国ウォンによるその相当額をこえないものである場合

(4) 及び (3) の規定にかかわらず、演劇、映画、ラジオ又はテレビジョンの俳優、音楽家、運動家その他の芸能人がこれらの者としての人的役務によつて取得する所得については、その人的役務が行なわれる締約国において租税を免除する。ただし、その所得が当該締約国におけるその者の滞在中一日につき百合衆国ドル若しくは日本円若しくは韓国ウォンによるその相当額をこえる場合又はその所得が合計して三千合衆国ドル若しくは日本円若しくは韓国ウォンによるその相当額をこえる場合は、この限りでない。

### 第十三条

(1) 一方の締約国の政府又は当該一方の締約国に存在する大学その他の公認された教育機関の招請によりその教育機関において教育若しくは研究又はこれらの双方を行なうことを主たる目的として当該一方の締約国を訪れる個人で当該一方の締

tracting State; or

(b) (i) he is present within the other Contracting State for a period or periods not exceeding in the aggregate 90 days in the calendar year concerned, and

(ii) he performs professional services, and

(iii) the remuneration received for such services does not exceed 3,000 United States dollars or its equivalent in Japanese Yen or Korean Won.

(4) Notwithstanding the provisions of paragraphs (1) and (3) of this Article, the income derived by public entertainers, such as theatre, motion picture, radio or television artists, musicians and athletes, from their personal services as such shall be exempt from tax in the Contracting State in which the services are performed unless such income exceeds either 100 United States dollars or its equivalent in Japanese Yen or Korean Won for each day such person is present in that Contracting State or an aggregate amount of 3,000 United States dollars or its equivalent in Japanese Yen or Korean Won.

### Article 13

(1) An individual who is a resident of a Contracting State at the beginning of his visit to the other Contracting State and who, at the invitation of the Government of that other Contracting State or of a university or other accredited educational institution situated in that other Contracting State, visits that

約国における滞在の当初に他方の締約国の居住者であるものは、当該一方の締約国に到着した日から二年をこえない期間、その教育又は研究によつて取得する所得につき当該一方の締約国において租税を免除される。

- (2) この条の規定は、主として特定の者の私的利益のために行なわれる研究から生じた所得については、適用しない。

#### 第十四条

- (1) 一方の締約国を訪れた当初に他方の締約国の居住者である個人であつて、主として、

(a) 当該一方の締約国内の大学その他の公認された教育機関において勉学を行なうため、

(b) 職業上の若しくは専門家の資格に必要な訓練を受けるため、又は

(c) 政府若しくは宗教、慈善、学術、文芸若しくは教育の団体からの交付金、手当若しくは奨励金を受領する者として勉学若しくは研究を行なうため、

当該一方の締約国内に一時的に滞在するものは、次のものにつき当該一方の締約国において租税を免除される。

- (i) 生計、教育、勉学、研究又は訓練のための海外からの送

other Contracting State for the primary purpose of teaching or engaging in research, or both, at a university or other accredited educational institution shall be exempt from tax in that other Contracting State on his income from such teaching or research for a period not exceeding two years from the date of his arrival in that other Contracting State.

(2) The provisions of this Article shall not apply to income from research if such research is undertaken primarily for the private benefit of a specific person or persons.

#### Article 14

(1) An individual who is a resident of a Contracting State at the beginning of his visit to the other Contracting State and who is temporarily present in that other Contracting State for the primary purpose of -

(a) studying at a university or other accredited educational institution in that other Contracting State, or

(b) securing training required to qualify him to practice a profession or a professional speciality, or

(c) studying or doing research as a recipient of a grant, allowance or award from a governmental, religious, charitable, scientific, literary or educational organization,

shall be exempt from tax in that other Contracting State with respect to -

- (i) remittance from abroad for the purpose of his maintenance, education,

金

(ii) (c) の交付金、手当又は奨励金

(iii) 当該一方の締約国において提供する人的役務によつて取得する所得であつて年間千八百合衆国ドル又は日本円若しくは韓国ウォンによるその相当額をこえないもの

(2) (1) の規定に基づく特典は、滞在の目的を達成するために合理的又は慣習的に必要とされる期間についてのみ与えられる。ただし、個人は、いかなる場合にも引き続き五年をこえる期間 (1) の規定の特典を与えられることはない。

(3) 一方の締約国を訪れた当初に他方の締約国の居住者である個人であつて、当該他方の締約国の居住者若しくは法人の使用人として又はその居住者若しくは法人との契約に基づき、その居住者又は法人以外の者から技術上、職業上又は事業上の経験を習得することを主たる目的として一年をこえない期間当該一方の締約国内に滞在するものは、その経験の習得に関連して提供する自己の人的役務に対するその期間の報酬につき当該一方の締約国において租税を免除される。ただし、海外から受け取る金額と当該一方の締約国内で支払われる金額との合計が年間五千合衆国ドル又は日本円若しくは韓国ウォンによるその相当額をこえない場合に限る。

(4) 一方の締約国を訪れた当初に他方の締約国の居住者である

study, research or training;  
(ii) the grant, allowance or award;  
and

(iii) income from his personal services rendered in that other Contracting State in an amount not exceeding 1,800 United States dollars or its equivalent in Japanese Yen or Korean Won during any calendar year.

(2) The benefits under the provisions of paragraph (1) of this Article shall only extend for such period of time as may be reasonably or customarily required to effectuate the purpose of the visit, but in no event shall any individual have the benefits of the said paragraph for more than five consecutive years.

(3) An individual who is a resident of a Contracting State at the beginning of his visit to the other Contracting State and who is present in that other Contracting State for a period not exceeding one year, as an employee of, or under contract with, a resident or corporation of the first-mentioned Contracting State, for the primary purpose of acquiring technical, professional or business experience from a person other than that resident or corporation of the first-mentioned Contracting State shall be exempt from tax in that other Contracting State on the remuneration for such period for his personal services performed in connection with the acquisition of such experience, if the total of amount received from abroad and of amount paid in that other Contracting State does not exceed 5,000 United States dollars or its equivalent in Japanese Yen or Korean Won during any calendar year.

(4) An individual who is a resident of a Contracting State at the beginning of his visit

個人であつて、当該一方の締約国の政府が主催する計画に参加する者として訓練、研究又は勉学を主たる目的として一年をこえない期間当該一方の締約国内に滞在するものは、その訓練、研究又は勉学に関連して提供する自己の人的役務に対するその期間の報酬につき当該一方の締約国において租税を免除される。ただし、海外から受け取る金額と当該一方の締約国内で支払われる金額との合計が年間五千合衆国ドル又は日本円若しくは韓国ウォンによるその相当額をこえない場合に限る。

#### 第十五条

一方の締約国の居住者に支払われる民間の退職年金及び保険年金に対しては、当該一方の締約国においてのみ租税を課することができる。

#### 第十六条

(1) 政府の職務の遂行として韓国政府又は韓国の地方公共団体に提供された人的役務に関し、同政府若しくは当該地方公共団体によつて個人に支払われ又は同政府若しくは当該地方公共団体が設立した基金から個人に支払われる給料、賃金又はこれらに類する報酬及び退職年金又はこれに類する給付については、日本国の租税を免除する。ただし、次の場合は、この限りでない。

to the other Contracting State and who is present in that other Contracting State for a period not exceeding one year, as a participant in a programme sponsored by the Government of that other Contracting State, for the primary purpose of training, research or study shall be exempt from tax in that other Contracting State on the remuneration for such period for his personal services performed in connection with such training, research or study, if the total of amount received from abroad and of amount paid in that other Contracting State does not exceed 5,000 United States dollars or its equivalent in Japanese Yen or Korean Won during any calendar year.

#### Article 15

Private pensions and private annuities paid to a resident of a Contracting State shall be taxable only in that Contracting State.

#### Article 16

(1) Salaries, wages, or similar compensation, and pensions or similar benefits paid by, or paid out of funds created by, the Government of Korea or local authorities thereof to any individual for personal services rendered to the Government of Korea or local authorities thereof in the discharge of governmental functions shall be exempt from Japanese tax, unless (a) the individual is a national of Japan, or is admitted to Japan for permanent residence therein, or (b) the individual is admitted to stay in Japan under the law of Japan with re-

公務遂行に係る報酬

退職年金及び保険年金